

第433号 2007. 10/10

社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
 URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324
 発行人 高橋 廣

目	次
今年度の前期技能検定実技試験について… 1	外国人雇用状況の届出が義務化…………… 4
「中小企業人材確保推進事業」…………… 2	事務局レポート…………… 5
トレビアンな成形異業種(四季)…………… 3	各支部会開催…………… 6
講師・検定委員合同研修会…………… 4	

今年度の前期技能検定実技試験について (プラスチック成形職種・射出成形作業)

首席技能検定委員 佐山 敏夫

東京都から毎年委嘱を受けて実施している、平成19年度国家検定である前期技能検定(プラスチック成形職種・射出成形作業)実技試験が、去る平成19年8月15日(水)の製品採点・会場後片付けをもって特に大きな事故・怪我無く無事終了いたしました。これも偏に毎年試験会場をご提供頂いている「東京都立中央・城北職業能力開発センター板橋校」、ご多忙中ご協力頂きました技能検定委員・補佐員の皆様、成形機メーカー並びに受検用プラスチック樹脂の提供にご尽力頂いた協力企業・材料メーカー等々、誠に数多くの皆様の温かいご支援・ご協力の賜物であり、誠に有難くこの場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

さて其れでは、今年度東京都実技試験の実施状況を振り返って見ましょう。まず今年度日程ですが平成19年7月28日(土)の会場準備に始まり、以

後連続16日間土曜・日曜無く実施し、前述致しました平成19年8月15日(水)に終了いたしました。

次に受検者数ですが、今年度の実技試験受検申請者数は1級63名、2級112名合計175名で、昨年度が1級71名、2級104名合計175名ですから奇しくも合計人数は同数です。但し内訳を見ますと2級で8名微増しています。平成16年度から受検資格要件が特に1級にて大幅に緩和された為、ここ数年1級は増加、2級は減少傾向で推移していました。従いまして今年度の2級受検者数増加は近年の傾向とは逆の流れであり、受検者数の底辺拡大の見地から誠に望ましいことです。会員企業の皆様には引き続き技能検定受検への動機付けを図って頂きたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

それでは肝心の、今年度実技試験受検者の「技能レベル」は如何でしょうか。本年度実技試験合

合格率は1級27.0%、2級54.5%で、昨年度の合格率1級49.3%、2級64.4%と比べ1,2級とも大幅に低調でした。言うまでも無く、受検者には受検するクラス以上の技能を既に身に付けておられる方、そのレベルに殆ど達していない方、受検資格レベル相応の方の三つに分かれるかと思いますが、今年度につきましては、総じて受検資格レベルの技能を身に付けていない方、取分け1級受検者には2級レベルでも怪しいと思われる方が散見されました。

従いまして此処で、実技試験に係る所感を述べてみたいと存じます。ご承知の通り技能検定「射出成形作業」の実技試験は、「限られた時間内に」、「限られた重量の成形樹脂を使用し」、「指定された数量の成形品で且つ良品を作る」技能を有しているか、否かが試されます。極論すれば検定試験は、先ず時間との戦いと心得るべきでしょう。この対策としては、そもそも実技試験問題が受検日の概ね2ヶ月前には公表されお手元に送付される筈ですから、受検者は兎に角送付された試験問題を良く読み、実技試験にかかるアウトラインを十分に理解し、更に各自「時間と作業内容の配分を事前によくシミュレーションされる事」が極めて重要です。次に成形品ですが、余にも完璧な成形品の作成に固執していると、時間切れになったり、材料切れになるかも知れません。要は合格出来るレベルの「其れなりの良品であるか否かの判断能力」が正に問われている技能でしょう。今年度の合格率が低下した最も大きな原因が此処にあるかと存じます。

更にもう一つの低下要因として、今年度から2級にも製品測定にかかるレポート提出が課せられるようになりましたが、2級受検者109名(欠席3

名除く)のうちレポート減点者は38名でした。誠に残念なことですが、仮に同レポート減点が無ければ実技試験に合格された方が4名おられます。

(因みに、1級のレポート結果は受検者数63名中減点された方は42名、内同減点が無ければ実技試験に合格された人数は3名でした)2級の測定にかかる課題は、其れほど重たい負担では有りません。但し試験課題では平素あまり使用する機会がない「M型ノギス」で測定しなければならない為、不慣れから測定ミス、結果の表示ミスに繋がったと思います。然しながら成形業者であれば、平素使用していなくても、必ずM型ノギスは有るでしょう。品質管理課等ノギスを保管していると思われるセクションから借りて、いやしくも受検する前にはよく練習を積まれる様お願い致します。

そもそもレポートに関しては、事前に問題が解っているのですから、充分測定の練習を重ねると同時にその結果の表示方法についても、受検者一人の目ではなく、社内で間違いのないサポートされるようお願い致します。是非来期はレポート減点者がゼロになることを期待致します。

今回晴れて技能士に合格された方は、今後とも益々自己研鑽され、企業業績向上の担い手として作業の無駄・コストの低減を図り、より優れた製品を生み出されることを期待致します。又残念ながら合格レベルに達しなかった方は、来年度は如何しても合格してやるという気概を持って再チャレンジされる事を期待致します。

最後にもう一度今年度の実技試験にご支援・ご協力頂いた数多くの皆様に厚く御礼申し上げますと共に来年度の検定実施に当たりまして何卒宜しくお願い申し上げます。誠に有難う御座いました。

『中小企業人材確保推進事業』 ～アンケート結果報告書発送、企業見学会～

当工業協会では、今年度から3年間に亘り雇用能力開発機構の委嘱を受けて「人材確保推進事業」に取り組んでいます。その一環として8月から9月にかけて会員企業の皆様にご協力を賜り、アンケート様式で雇用管理実態調査を実施いたしました。現在、調査を委託した社労士の先生に分析と報告書を作成して頂いているところであり、出来次第、10月末頃には皆様のところへお届けする予定です。

また、当該事業の一環として、11月に会員企業

見学会を予定しております。参加者数に制限があり、先着順でお願いいたします。案内状は別添をご覧ください。

なお、10月後半には、従業員の皆様を対象とした「就業に関する従業員意識調査」並びに会社の「社員教育の現状」に関するアンケート調査を予定しております。中小企業の人材確保を推進すべくこの事業を実施しているところです。何卒、アンケートにご協力賜りますようお願い申し上げます。(人材確保事業委員会 事務局)

トレビアンな成形異業種（四季）



「日本金型産業の競争力の源泉」というテーマで田中美和先生の講演を聞く機会があった。約2時間、高度な内容で理解し難いところもあったが大いに洗脳された、金型業界は、従業員19名以下が99%という成形業界を上回る中小企業群である。金型産業にとって必要と思われる方向性は、全体として

知識集約型を目指すことであり、その特徴を

1. 高度専門技術力（固有技術）
2. 開発能力（先見性に基づく開発を行う能力）
3. 超精密・微細加工能力
4. 応用力（確立された能力のレベルアップ）
5. 提案力（新規需要に対する技術提案）
6. 判断力
7. 経験（技術に基づく、知識労働の経験）
8. スピード

と指摘している。これは成形加工業界と全く同じであろう。そして事例研究として、成形金型ではP社を取り上げて説明された。

P社は、従業員39名、業歴40年。知識集約型の特徴を全項目満たしている会社という。さらに注目していることは、取引先企業との関係だという。P社の方針は、1業種1社である。単純に“取引先が増えるとはよいことだ”という概念が存在しない。

取引先を1社に絞った理由を一口で表現すると、機密保持に優れ、信頼のおける金型企業であるというイメージにより、取引先が新機種の開発を行う際にP社への発注が繰り返されるのだという。さらに蓄積された取引先の図面を中心とした技術情報を基に、的確な提案や設計変更がスピーディに行われ、QCDの全てにいい結果を得られているというものである。取引先を限定することは同時にリスクを背負うことでもあるが、これが貫けることは、立派であり、多くの場合好結果をもたらすものである。

筆者もこれと同じ経験があり、技術力・開発力がスパイラルに向上した強烈なよき思い出がある。

筆者と35年間付き合った設備関係の商社マンがいる。7～8年でI社を設立し、継続的に安定した立派な業績を残している。彼は、強引な積極的な売込みはしない、悠々として一見のんきそうだが、陰で相当の勉強をしている。それを前面に出さない、わざとらしい仕草や行動は起こさない。聞くとも何でも応えるというタイプである。いまで言うイケメン。背が高く、女性は勿論のこと男性もひきつける魅力ある男である。なにかあると彼に相談したくなる。彼を頼りたくなるのである。いま振り替えると彼も取扱いメーカーは1業種1社である。大商社ではないが、巨大メーカーに対しても発言力は強く、メーカートップの信頼も厚い。少々の無理も真剣になって動いてくれる源泉がこれであろう。

商売を健全に継続するには、勿論技術を磨き、ITを吸収して時代に即応しなければいけないが、それをより活かせるのは、個々の人間性であり、相互信頼を基づくことだと改めて痛感した次第である。

先ごろ、大手設備商社Y社の常務を永年努められた方から退任通知を戴いた。紳士で律儀な方だ。部下からは慕われ、指導力豊かな営業マンの鏡であり、優秀なダイレクターである。お付き合いしてから20年くらいだが、いまだに時節の交歓はしている。現役時代の筆者の新技术開発に、深い縁もないのに積極的に協力して戴き、メーカーを説得して下さったと聞いている。お陰様で当社もユーザーに認められ、このシステムは海を渡っても活躍した。一時代を築いたもので多少のご恩返しはできたかと思っている。一つには彼の先見性を見逃すことはできないが、人間どんな些細なことでも律儀に、一つ一つ、丁寧に対応するということが、人間信頼に繋がるのではないかと思われる。

8月のAPMニュースの業況調査は、とても景気回復を反映しているとはいえない。マクロではいい数字を残してもミクロの底辺は低迷している。頭で汗をかく世界は好況。身体で汗をかく分野は停滞。ノンリソースのわが国は、心身で汗をかく“ものづくり”が基本であることを忘れられることが怖い。

激変する経営環境はきつい。当業界にも早く追い風はふくことを念じてやまない。(案山子)

講師・検定委員合同研修会

去る9月21日(金)講師・検定委員合同研修会に10名が参加し、株式会社スター精機出雲工場の見学会を実施しました。工場見学に先立ち縁結びの神「国宝出雲大社」を参拝、プラスチック業界並びに当工業協会関係各位の益々の発展を祈願致しました。

その後同社出雲工場を訪問、周辺機器にかかるの最新情報・動向につき説明を受け、更に近年注目されているトラバース式採り出し機等々同社最新機器並びに同社諸生産設備を見学させて頂きました。正に百聞は一見で多くの知識・貴重な経験を得ることが出来ました。

研修終了後は、近接の玉造温泉「ホテル玉泉」に宿泊、日頃のお仕事疲れ・ストレス解消と慰労



を兼ねて懇親会を開催、秋の味覚を満喫いたしました。翌22日(土)は、「足立美術館」にて日本一の呼び声がある日本庭園他美術品を鑑賞、遊覧船にて松江城の堀川を一週、更に松江城の天守閣に搭乗し、神々発祥の地出雲を心行くまで堪能致しました。参加者一同日頃の忙しさを忘れ、心身と



も大いにリフレッシュさせて頂きました。

この度の講師・検定員合同研修会の実施に当たりましては、株式会社スター精機の飯塚海外営業統括本部長様始め同社出雲工場並びに東京支店の数多くの皆様に大変お世話に成りました、この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

～平成19年10月1日より、事業主の方に対し、外国人雇用状況の届出が義務化されます～

全ての事業主の皆様には、外国人労働者（特別永住者及び在留資格「外交」・「公用」の者を除く）の雇入れまたは離職の際に、当該外国人の労働者の氏名、在留資格、在留期間等を、ハローワークを通じ厚生労働大臣へ届け出ることが義務付けられます。

例年行っていた、6月1日時点での報告書の提出は必要ありません。

10月1日の時点で既に雇用している外国人労働者については、施行後1年の間（平成20年10月1日まで）に届け出ていただきます。

- 所在地を管轄するハローワーク（公共職業安定所）窓口への届出のほか、電子申請によることも可能です。
- 報告書の提出を怠ったり、虚偽の届出を行った場合には、30万円以下の罰金が課せられます。
- 届出方法、様式は下記の東京労働局ホームページからダウンロードできます。

<http://www.roudoukyoku.go.jp/topics/2007/20070911-gaikokujin/index.html>

<問合せ先>同局職業安定部職業対策課特別雇用対策係 TEL 03-3512-1662

事務局レポート

■第286回理事会議事録

1. 日 時 平成19年9月12日(水)
14時00分～15時00分

2. 場 所 東日本プラスチック工業厚生年金
基金会館
東京都台東区柳橋2-21-8

3. 出席者

齋藤 森作	佐山 敏夫	山下 勝意
喜多 信夫	大井 英一	内藤 隆夫
川野 幸博	白石 恵一	工藤 郁雄
犬飼 進平	大川 哲郎	信川 誠
後藤 暢夫	飯高 一郎	佐藤 昭
森 省三	肥後 武重	腰越 稔
園田 良輔	樫山 徹	武田 久徳
高橋 廣		

以上出席39名(内委任状17)

森田 章(監事)

4. 会長挨拶

安倍総理が辞任するとのニュースが入り驚いているところ。7月の参議院選挙での自民党の大敗、さらにサブプライムの問題に端を発した株や為替の大変動、ガソリンの高騰等、世界の国々から個人にいたるまで様々な影響を受けたようです。

昨日の新聞で、4-6月のGDPがマイナス成長、7-9月はプラスとの記事が出ていたが、反面、街角景況感は8月も低下、雇用関連指数も2003年6月以来の50%割れとの記事も同時に載っておりました。当社でも10月決算を迎えるが利益確保は大変厳しい状況になっている。その要因は、まず原材料の値上げや包装材料の価格転嫁がすすんでいないこと、間接経費の増加(特に品質を含めた管理部門が年々増加していること)等が挙げられる。

今後、国内政局の動向やアメリカのサブプライムローンの問題がわれわれの身近に影響あるのではと危惧している。

先日開催の役員選衡委員会において、曾我部副会長が委員長に選出され、来年5月の役員改

選に向けて、新役員候補の選衡を進めていただくが、会長候補も含め話し合っていたきたい。本日は、社労士先生の講演も予定されており円滑な議案の審議をお願いし挨拶とした。

5. 議事録署名人

議長は、定款第31条2項により、腰越 稔理事、内藤隆夫理事を議事録署名人に指名し了承された。

6. 議 事

議題1. 経過報告

(1) 役員会等の開催

7月18日 第285回理事会

8月24日 第1回役員選衡委員会

以上八重洲富士屋ホテル

(2) 部会・委員会の開催

① 技能検定運営委員会

7月21, 22日 機械操作説明会

板橋技術専門校

7月29～8月14日 前期実技試験

板橋技術専門校

8月15日 製品採点会議

板橋技術専門校

9月3日 後期実施説明会

都職能

② 青年経営研究会(JPO)

8月28日 報告会・納涼会

浅草「我房」

③ 人材確保事業委員会

8月24日 第1回委員会

八重洲富士屋ホテル

(3) 支部会等の開催

9月7日 都心支部会

日本橋「いづみや」

議題2. 会員の入会・退会承認の件

(1) 退会の部

正会員 2社

①会社名 ハシー工業(株) (墨東支部)

②会社名 シロウマサイエンス(株)

(その他)

議題3. 埼玉支部推薦理事の交代の件

埼玉支部の推薦理事について、下記の通り同支部より変更申出を受けた。

本件は定款第15条2項により、本理事会に諮るものであり、任期については、定款第16条2

項により前任者の残任期間(来年の総会まで)とする。

(埼玉支部推薦理事)

変更前	変更後
田中尚文(プラコム(株))	小松幹也(株日新化成)

以上について特に意見なく全会一致で承認された。

5. 報告事項

(1) 役員選衡委員会

資料1に沿って専務理事から説明した。

委員会の中で、各支部には支部推薦理事候補者について20年1月までに推薦をお願いした。本部推薦理事も含め2月末には候補者が決定し、3月の理事会へ提出する予定。その時点で理事候補者会議を開き、会長候補の内定を併せて進めることにしている旨。

(2) 人材確保推進事業実施に伴う協力をお願い

今回、人材確保推進事業が認可を受け予算が下りたことを報告。さらに資料2,3により、アンケート調査を実施中でその協力についてと今後、セミナーや企業見学会を予定しており、進めていくうえでの協力をお願いした。

(3) 協同組合からの事業の説明とお願い

肥後代表理事から、廃プラ事業とETCコーポレートカード事業さらに新医療保険事業の3本柱について報告し、事業への協力をお願いした。特に医療保険についてはAIGスター生命とジョイントを組み新たな保険事業を立ち上げたものであり、再度、事業への参加協力をお願いした。

AIG担当者から、配布パンフレットに沿って概略説明した。

以上で予定された議事が終了、議長は17時00分、理事会の閉会を宣した。

■支部会開催

【都心支部会】

9月7日、日本橋「いづみや」にて支部会が開かれた。当日は武蔵野から安達支部長も参加、12名で開催されました。大野支部長から原料樹脂の値上げ問題及び小売の再編などに係る話があり、また武蔵野支部長からも挨拶がありました。専務理事からは材料価格高騰に係るアンケート調査結果、

人材確保事業の実施状況について本部報告が行われ、その後池下会長の乾杯により懇親会に移り情報交換で盛り上がりました。

【都南支部会】

9月26日、蒲田「ア・ヘア」にて開催。佐山支部長以下7名が出席、会長より、取巻く経営環境は悪くなっており、福田新内閣(背水の陣内閣)が誕生し少しでも良くなればと挨拶し、来年度の役員改選に伴う支部推薦理事候補について参加者の意見を聞いた。専務理事からは国の下請法対策さらに組合事業のお願いを含め本部報告を行った。乾杯の後、情報交換に移り、支部会員が進出しているタイの最近の状況について報告がありました。

【埼玉支部会】



9月27日、第98回支部会が浦和「満寿家」で開催された。会場は中仙道沿いにある鰻の老舗で、18名が参加。園田支部長の挨拶の後、(田中前副支部長の退任に伴う)後任副支部長の選任、来年度支部推薦理事候補者の選出が行われ議案どおり可決された。報告事項では今年度入会及び退会会員の件及び会計報告がなされ原案通り承認された。専務理事からは原油価格高騰に伴う国による下請法の運用監視などについて報告し、肥後組合代表理事から事業の3本柱(廃プラ、ETCカード及び新医療保険)への協力をお願いをした。エンブラス横田会長の乾杯の発声で情報交換会が始まりました(写真参照)。

【西南支部会】

9月28日、武蔵小山「井門」にて7名が参加し開催された。五十嵐支部長の開催の挨拶に続き、来年度支部推薦理事候補者の選出について参加者の意見を聞いた。本部報告では、来年度の税制改革の動き、サブプライム問題さらに協同組合事業、とりわけ新医療共済スタートに際し協力をお願いした。情報交換では、進出している会員から中国特に大連地区の現況について報告がありました。